

平成 20年 12月8日

各 位

三井住友ファイナンス&リース株式会社
株式会社三井住友フィナンシャルグループ
住 友 商 事 株 式 会 社

航空機オペレーティングリース事業の戦略的共同展開について

三井住友ファイナンス&リース株式会社（取締役社長：石田 浩二、以下「SMFL」）、株式会社三井住友フィナンシャルグループ（取締役社長：北山 禎介、以下「SMFG」）、及び住友商事株式会社（取締役社長：加藤 進、以下「住友商事」）は、SMFL と住友商事が共同で新会社を設立し、航空機オペレーティングリース事業を共同で展開することを決定いたしました。

平成19年7月30日付「リース事業及びオートリース事業の戦略的共同事業化に関する最終合意と両事業にかかる合併契約について」に記載のとおり、住友商事グループと三井住友フィナンシャルグループは、SMFL によるリース事業及び住友三井オートサービス株式会社によるオートリース事業を両グループの戦略的共同事業と位置づけております。

今般、その戦略的共同事業の一環として、航空機オペレーティングリース事業を拡大・発展させるために、SMFL60%、住友商事 40%の保有比率にて同事業を共同展開するための新会社 SMFL Aircraft Capital Corporation B.V.（以下「SMAC」）を設立いたしました。

住友商事は、オランダの航空機オペレーティングリース事業子会社 Sumisho Aircraft Asset Management B.V. を中心に航空機機材の市場価値の厳格な管理体制に基づき、世界各地の航空会社に対し、機材の耐用年数から見て比較的短期間のリース（オペレーティングリース）を中心とするサービスを提供して参りました。住友商事が保有または管理する航空機リース資産は B737 型機・A320 型機を中心に 58 機であります。

原油価格等のコスト増や、世界経済の減速等に起因する航空旅客収入の減少懸念等、航空業界を取り巻く環境は足許厳しいものがありますが、新興市場の成長や経済効率性の高い機体への需要の高まりから、航空機オペレーティングリース事業は中長期的に堅調な拡大が見込まれる分野と捉えております。

住友商事グループと三井住友フィナンシャルグループは、SMFG 及び SMFL の持つ強固な財務基盤や財務ソリューション提供力と、住友商事の持つ航空機オペレーティングリース業務や航空機マネジメントのノウハウを結集・融合し、航空会社向けに幅広いサービス提供が可能な航空機リース業界の中で最も競争力のあるプレイヤーとなるべく、SMAC を通じ航空機オペレーティングリース事業を拡大して参ります。

○新会社の概要

- (1) 商号 : SMFL Aircraft Capital Corporation B.V.
- (2) 代表者 : 代表取締役社長 山邊 隆義
- (3) 所在地 : オランダ王国アムステルダム
- (4) 設立年月日 : 平成 20 年 12 月 1 日
- (5) 主な事業内容 : 航空機オペレーティングリース
- (6) 決算月 : 3 月
- (7) 資本金 : €18,000
- (8) 株主・出資比率 : SMFL 60%
住友商事 40%

【本件に関するお問い合わせ先】

三井住友ファイナンス&リース	企画部	須長	TEL:03-5404-2301
三井住友フィナンシャルグループ	広報部	松本	TEL:03-5512-2681
住友商事	広報部	江中	TEL:03-5166-4349

以 上